

令和3年度全国学力・学習状況調査結果分析と改善方策（宇佐市）

平均正答率（％） ※大分県・全国は公立の平均正答率。

【小学校】

小学校 6 年生		
	国語	算数
宇佐市	65	70
大分県（公立）	66	70
全国（公立）	64.7	70.2

【中学校】

中学校 3 年生		
	国語	数学
宇佐市	66	56
大分県（公立）	66	57
全国（公立）	64.6	57.2

1. 教科ごとの結果分析と改善方策

小学校 国語

	全体	学習指導要領の内容			
		言葉の特徴や使い 方に関する事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと
宇佐市	65	70.5	76.6	63.6	44.5
大分県	66	69.7	77.4	64.8	46.5
全国	64.7	68.3	77.8	60.7	47.2

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」「書くこと」において全国値を上回っている。
- △「話すこと・聞くこと」「読むこと」において、全国値をやや下回っている。
- 「主語と述語の関係」「修飾と被修飾との関係」の正答率が高い。
- ③「目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」の正答率が高い。
- △ ②四「目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する」全国値を下回っている。

改善方策等

○問題の内容

大問1 調べたことについて、資料を使ってスピーチをする（津田梅子の紹介）

- ・発表者の意図を捉えることはできたが、資料に整合する説明を加えて話すことが捉えられていない。

大問2 説明的な文章を読み、分かったことをまとめる（「面ファスナー」）

- ・面ファスナーのくっつく仕組みや活用法について、3つの条件に合わせて書く（記述問題）の正答率が低い。



○自分の考えが伝わるように資料を用いる際の表現を工夫する。

- 目的や意図に応じて、資料の順番を変えたり、資料を提示したりしながら話す仕方について検討するような活動を仕組む。実際に発表する場面では、発表を相互に見合ったり、話す様子や聞き手の様子を動画で撮影したりして、自らの表現や聞き手の反応を客観的に捉えることが大切である。

○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける。

- 文章中に用いられている図表などが、文章のどの部分と結びつくのかを明らかにした上で、文章と図表などの関係を捉えて読むことができるようにすることが大切である。

○目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する。

- 文章を要約するためには、目的に応じて文章全体から必要な部分を選び、内容を端的に説明することが大切である。

小学校 算数

	全体	学習指導要領の領域				
		数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
宇佐市	70	65.0	55.8	74.8	75.6	74.2
大分県	70	64.1	56.9	74.7	74.9	75.7
全国	70.2	63.1	57.9	74.8	75.9	76.0

○領域別では、「数と計算」において全国値を上回っている。

△「図形」「変化と関係」「データの活用」において全国値を下回っている。

- ①(5)速さと道のりを基に、時間を求める式に表すこと、③(1)棒グラフから数量を読み取ること
- ④(2)商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算すること等、「知識・技能」に関するものがよくできている。
- △ ②(3)二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く問題 ③(4)帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く問題 記述の問題に課題

改善方策等

○問題の内容

大問1 ㊸と㊹の二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ問題

- ・単位量当たりの大きさを求める除数の式と商の意味を捉えることに課題がある。

大問2 複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述する。

- ・図形の構成の仕方を捉えて必要な長さを求め、図形の面積の公式を用いることができていない。

大問3 帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く

- ・複数のデータから項目の違いに着目し、データの特徴や傾向を読み取れていない。



○速さを求める除法の式と商の意味を理解できるようにする。

→どちらが速いか比べる際には、単位量を道のり又は時間で比べる場合があり、どちらを単位量として設定しているかについて考え、速さを求める除法の式と商の意味を理解できるようにする。

○図形の構成の仕方を捉えて必要な長さを求め、図形の面積の公式を用いることができるようにする。

→面積を求めようとする図形の辺の長さや位置関係、分かっている図形の辺の長さや位置関係を捉え、面積の求め方について筋道を立てて説明する学習活動を設定する。

○興味・関心や問題意識に基づき、児童自ら統計的な問題解決ができるようにする。

→統計的に解決可能な問題を設定することや、設定した問題に対してどのようなデータを集めるべきかを判断するような学習活動を仕組む。

中学校 国語

	全体	学習指導要領の領域等			
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化 と国語の特質に関 する事項
宇佐市	66	82.5	57.2	49.6	76.0
大分県	66	82.1	58.1	49.1	75.5
全国	64.6	79.8	57.1	48.5	75.1

○教科全体で、全国値を上回っている。

○領域別でも、全てにおいて全国値を上回っている。

○領域別では、「話すこと・聞くこと」において、「話合いの話題や方向、質問の意図を捉えること」がよくできている。

○文脈に即して漢字を正しく読むこと（伸ばして・詳細）の正答率が高い。

改善方策等

○問題の内容

大問1 話合いをする（地域清掃活動）

・参加者の誰がどのようなことについて発言するとよいかと、その理由を書く問題

大問2 意見文を書く（言葉の使い方）

・書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意したり、文章の構成の工夫を考えたりする問題。

大問3 文学的な文章を読む（「吾輩は猫である」）

・文章の一部を引用し、自分の考えを具体的に書く問題の正答率が低い。

大問4 電子メールを書く（焼き物作りの体験）

・相手や場に応じて敬語を適切に使うこと、伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くこと、の正答率が低い。



○書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にするために、文章を推敲する。

→伝えたい事柄等にふさわしい語句や文の使い方になっているか、段落の設け方、段落相互の関係は適切か、全体と部分の関係はどのようになっているかなどについて検討することが大切である。

○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。

→文学的な文章を読んで自分の考えをもつためには、「構造と内容の把握」や「精査・解釈」の学習過程を通して理解したことを他者に説明したり、他者の考えやその根拠などを知ったりするように指導する必要がある。

○目的や意図に応じて、読み手に分かりやすく伝わるように書く。

→目的や意図に応じて説明や具体例を加えたり、表現しようとする内容に最もふさわしい語句を選んで描写を工夫したりするように指導することが大切である。

中学校 数学

	全体	学習指導要領の領域			
		数と式	図形	関数	資料の活用
宇佐市	56	64.5	49.0	54.1	54.2
大分県	57	65.3	48.4	56.4	55.9
全国	57.2	64.9	51.4	56.4	53.8

○領域別では、「資料の活用」において全国値を上回っている。

△「数と式」「図形」「関数」において全国値を下回っている。

○「与えられたデータから中央値を求めることができる」「相対度数の必要性と意味を理解している」…「資料の活用」領域で技能、知識・理解の観点がよくできている。

○「整式の加法と減法の計算ができる」「具体的な場面で、一元一次方程式をつくることできる」…「数と式」領域で技能の観点がよくできている。

△「目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる」「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる」「平行四辺形になるために条件を用いて、四角形が平行四辺形になること理由を説明することができる」…理由や方法を数学的に説明する記述問題に課題が見られる。

改善方策等

○問題の内容

大問6 四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になることの説明を完成する。

- ・ $4(n+3)$ と計算できているが、「 $n+3$ は自然数だから」の記述がない。
- ・ $4n+12$ と計算できているが、「 $4n$ 、 12 が4の倍数で、4の倍数の和は4の倍数である」の記述がない。

大問7 与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する。

・「直線のグラフをかいて利用する」ことは記述できているが、「 y 座標が120のときの x 座標を読む」まで記述できていない。

・「式を求めて利用する」ことは記述できているが、「 $y=120$ を代入して、 x の値を求める」まで記述できていない。

大問9 「四角形ABCEが平行四辺形になることを、平行四辺形になるための条件を用いて説明する。

- ・無回答が多い。



次のような学習活動を単元計画に位置づけ、計画的に取り組んでいくことが大切である。

○数に関する事象を考察する場面では、成り立ちそうな事柄を予想し、予想を確かめ、事柄が成り立つ理由について筋道を立てて考え説明すること、さらに問題の条件を変えるなどして、発展的に考察すること。

○実生活の場面において、事象を理想化・単純化してその特徴を的確に捉え、事象を数学的に解釈することが求められる場合がある。その際、問題解決の方法を考え、それを数学的に説明すること。

○図形の性質を考察する場面では、予想した事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考えることや条件を保ったまま図形を動かしても成り立つ事柄を見いだすこと。

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果(児童・生徒質問紙)

【小学校 児童質問紙 結果】

◎全国を3ポイント以上上回る項目 ※数値は肯定値(当てはまる+どちらかといえば当てはまる)

番号	質問	宇佐市	全国	県
1	今住んでいる地域の行事に参加していますか。	66.0	58.1	60.0
2	5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか。(週1回以上)	50.4	40.1	34.5
3	あなたは学校でコンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。 (週1回以上)	49.0	39.0	34.9
4	学級活動に学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。	77.1	73.5	75.9
5	英語の勉強は好きですか。	74.4	68.3	68.9
6	新型コロナウイルス感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか。	69.7	64.6	66.2

全国を3ポイント以上下回る項目

番号	質問	宇佐市	全国	県
1	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。	65.4	70.1	69.6
2	自分には、よいところがあると思いますか。	71.7	76.9	76.1
3	将来の夢や目標を持っていますか。	75.0	80.3	80.0
4	学校に行くのは楽しいと思いますか。	77.3	83.4	82.3
5	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	64.3	70.1	70.4
6	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか。	63.8	67.2	66.8
7	5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか。	71.3	74.6	75.1

その他の回答様式で改善が見られる項目・課題が見られる項目

質問	肯定値(宇佐市・全国・大分県)
平日1日当たりどれくらい勉強をしますか。	2時間以上 17.3%(全国26.9%県27.1%)
平日1日当たりどれくらい読書をしますか。	30分以上 37.7%(全国37.4%県40.8%)
平日1日当たりどれくらいテレビゲームをしますか。	3時間以上 33.5%(全国29.0%県29.1%)

【中学校 生徒質問紙 結果】

◎全国を3ポイント以上上回る項目 ※数値は肯定値（当てはまる+どちらかといえば当てはまる）

番号	質問	宇佐市	全国	県
1	今住んでいる地域の行事に参加していますか。	51.3	43.1	44.9
2	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。	51.8	43.8	46.9
3	学習の中でコンピュータなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。	96.7	93.2	95.7
4	2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。	79.4	74.3	76.5
5	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。	79.0	73.9	77.4
6	国語の勉強は好きですか	70.4	60.8	63.1
7	国語の授業の内容はよくわかりますか。	85.4	80.1	80.6
8	数学の勉強は好きですか。	63.3	59.1	59.6
9	数学の勉強は大切だと思いますか。	87.6	84.1	85.6
10	数学の授業の内容はよくわかりますか。	79.0	74.6	74.6
11	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	79.4	74.6	76.4
12	数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。	55.1	50.6	53.1
13	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。	93.3	86.6	89.4
14	1,2年生のときに受けた英語の授業では英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか。	71.2	67.7	72.7

▲全国を3ポイント以上下回る項目 数値は肯定値

番号	質問	宇佐市	全国	県
1	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。	61.9	67.9	65.7
2	自分には、よいところがあると思いますか。	72.8	76.2	76.1
3	学校に行くのは楽しいと思いますか。	76.1	81.1	81.2
4	自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか。	71.8	75.2	76.7
5	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(学校の授業の予習や復習を含む)	58.7	63.5	61.0
6	学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。	27.9	34.8	33.4
7	1,2年のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。	57.8	62.0	56.8
8	1,2年のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	77.1	81.0	79.3
9	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	66.4	74.6	72.0
10	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。	63.2	70.2	69.5
11	数学の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。	71.1	75.8	75.5
12	英語の勉強は好きですか。	53.7	56.7	59.9

その他の回答様式で改善が見られる項目・課題が見られる項目

質問	肯定値(宇佐市・全国・大分県)
平日1日当たりどれくらいテレビゲームをしますか。	3時間以上34.8%(全国32.3%県26.0%)
平日1日当たりどれくらい勉強しますか	2時間以上40.6%(全国41.8%県47.1%)

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果（学校質問紙）

1 調査結果の概要（肯定的回答が特に多かった項目…○ 少なかった項目…△）

小・中学校：学校質問紙

- 学級運営の状況や課題を全教職員間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる。
- 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している。
- 児童・生徒の姿や地域の現状に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。
- 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、特別の教科道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体で取り組んでいる。
- 授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている。
- 児童・生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っている。
- 学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っている。
- 児童・生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めた。
- 総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探求の過程を意識した指導をしている。
- 学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級の話合いを生かして、一人一人の児童生徒が意思決定できるような指導を行っている。
- 特別の教科道徳において、児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている。
- コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。
- 家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしている。（教科共通）
- △コンピュータなどのICT機器の活用の際に、学校に十分な知識をもった専門スタッフ（教員は除く）がいるなど技術的にサポートできる体制がある。（小・中）

2 学校質問紙調査の結果をふまえて（今後の課題）

- ◇各学校において、学力や生活についての課題を共有し、組織的な取組が行われている。今後も校長のリーダーシップのもと、教育課程を計画・実施・検証・改善をしていく。
- ◇授業研究や事例研究など、実践的な研修が行われているので、今後もICT等を活用した授業の取組についても推進していく。
- ◇家庭学習の取組ができています。今後も、自分で計画を立て、課題解決に向け自分で取り組んでいく児童生徒の育成のための実践的な取組を行っていく。